

SRNX1

Bluetooth® Bluetooth® 付き

SRNX1x

Bluetooth® なし

EN019U070 (2205K-BC)

付属品

- ・リチウムイオンバッテリー（SBR-44LI）
- ・アンテナ
- ・ベルトクリップ（取付用ネジ2本付属）
- ・ハンドストラップ
- ・取扱説明書
- ・保証書

正しくご使用いただくために

- ◎通話する際は、マイクから約5センチ離して普通の声量で話してください。
- ◎本機にタイピンマイクやスピーカーマイクなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- ◎当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません。
- ◎直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください。
- ◎周囲温度が極端に高い場所、または極端に低い場所での使用は避けてください。本機の動作温度範囲は、-10℃～+60℃です。
- ◎本機内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください。

防水性能について

- 本機は、IEC 国際規格 IP67 相当（防塵等級 6^{※1}、防水等級 7^{※2}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ず、ご使用する前に下記の項目をご確認ください。
- ◎各キーのラバー、オプション接続端子カバー、USB 端子カバーなどに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください。
 - ◎海水や砂、泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
 - ◎本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
 - ◎本機は、水中での使用はできません。
- ※1：粉塵の侵入から完全に保護されていること。
 ※2：真水 / 静水に水深 1m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさないこと。

故障かな？と思う前に

- 間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください。
- ◎電源が入らない！
 - ・バッテリーが消耗していませんか？
 - ➡ バッテリーを充電してください。
 - ・バッテリーの端子が接触不良になっていませんか？
 - ➡ 端子を綿棒などで拭いてください。
 - ・バッテリーが古くなっていませんか？
 - ➡ バッテリーの寿命です。当社純正の新しいバッテリーとお取り替えください。
 - ◎送信できない！
 - ・PTT（またはセカンド PTT）を正しく押していますか？
 - ・PTT（またはセカンド PTT）がロックされていませんか？
 - ➡ [戻る] キーを長押ししてロックを解除してください。
 - ・送信禁止（受信専用）の設定になっていませんか？
 - ➡ お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ◎音がでない！
 - ・音量調節ツマミを右にまわして調節してください。
 - ◎通話できない！
 - ・NTT ドコモの通話圏外になっていませんか？
 - ➡ “Till” が点灯する場所に移動してください。
 - ◎キー操作ができない！
 - ・キーを押した時ディスプレイに“ロック”が表示されませんか？
 - ➡ [戻る] キーを長押ししてロックを解除してください。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

TEL：03-6711-4055

- ◎保証期間はお買い上げの日より 3 年間で。

本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。

- ◎保証書は大切に保管してください。

保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

- ◎リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です。

化学的経年劣化なども保証対象外になります。

- ◎リチウムイオンバッテリーは消耗品です。

充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合はリチウムイオンバッテリーの寿命です。

定格

- 無線通信仕様：NTT ドコモ LTE
- Wi-Fi 仕様：802.11 b/g/n 2.4GHz 帯
- 通信方式：プレストーク方式、複信（同時通話）方式
- 低周波出力：1000mW 以上（内蔵スピーカー 8 Ω 10% 歪時）
1000mW 以上（外部出力* 8 Ω 10% 歪時）
※スピーカーマイク接続時
- 動作温度範囲：-10℃～+60℃
- 電源（定格）：DC3.7V
- 本体寸法：約 W59 × H97 × D36（mm）
（SBR-44LI バッテリー装着時、突起物を含まず）
- 本体重量：約 220g（SBR-44LI、アンテナを含む）
- Bluetooth®：V4.2 BLE（SRNX1 のみ）
- 防塵・防水性能：IP67*

- ※ バッテリー、アンテナ装着、オプション接続端子カバー、USB 端子カバーを閉めた状態
- ・この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。
- ・RoHS 指令準拠

オプション

- 防水・防塵形スピーカーマイク.....SSM-23B
- スピーカーマイク（3.5 φイヤホンジャック付）..SSM-22B
- タイピンマイク（マイクケーブル長 約 75cm）...SMJ5001-L3.5/2.5
- タイピンマイク用イヤピース（ケーブル長 約 50cm）
 - 耳かけ付きオープンエア型（S）...EP301 OAHS-S2.5（T50B）
 - 耳かけ付きオープンエア型（L）...EP302 OAHL-S2.5（T50B）
 - インイヤー オープン型.....EP401 IEO-S2.5（T50B）
 - インイヤー フィット型.....EP501 IEF-S2.5（T50B）
- タイピンマイク（マイクケーブル長 約 75cm、イヤピースケーブル長 約 50cm）
 - 耳かけ付きオープンエア型（S）...SMEP4001 OAHS-L3.5/2.5
 - 耳かけ付きオープンエア型（L）...SMEP4001 OAHL-L3.5/2.5
 - インイヤー オープン型.....SMEP4001 IEO-L3.5/2.5
 - インイヤー フィット型.....SMEP4001 IEF-L3.5/2.5
- Bluetooth® ヘッドセット（SRNX1 のみ使用できます）
- リチウムイオンバッテリー（付属品と同等）
- シングル充電器（AC アダプタ付属）
- 連結型ツイン充電器（専用 AC アダプタが必要です）
- 連結型ツイン充電器用 AC アダプタ
- アルカリ単 3 形乾電池ケース
- シガープラグ付き DC アダプタ
USB ケーブルを接続して車のシガーライターから充電できます。
- USB ケーブル（USB Type-A - Type-C）
シガープラグ付き DC アダプタやパソコンの USB 端子に接続して充電できます。
- キャリングケース
- キャリングケース用ショルダーストラップ
- アンテナ（付属品と同等）

ご注意

● 2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意

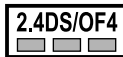
本製品の Wi-Fi や Bluetooth® を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください。

この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Wi-Fi や Bluetooth® のご使用をお控えください。
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6711-4055）にお問い合わせください。

● 本製品の Wi-Fi 及び Bluetooth® の使用周波数・変調方式・想定干渉距離・周波数変更の可否を以下に示します。

(1) Wi-Fi



「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
「DS」/「OF」 : DS-SS 方式 / OFDM 方式
「4」 : 想定干渉距離 40m 以下
「」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局を回避可能

(2) Bluetooth®



「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
「FH」 : FH-SS 方式
「2」 : 想定干渉距離 20m 以下
「」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局を回避可能

● 本製品の比吸収率（SAR）について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収率に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、携帯型端末などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR : Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg[※] の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。本製品の値は 1.15W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯型端末の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、本製品は、基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/index.html>

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

● 電波法についてのご注意

◎ 本製品は電波法に基いて技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品です。分解や改造をしないでください。

◎ 本製品を使用できるのは日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品及びその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので使用しないでください。

● 自動車運転時のご注意

◎ 安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視（表示部を見つづける行為）したりしないでください。

◎ 無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。

◎ 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。一部の都道府県では、走行中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。

◎ 安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

● 医療電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください

◎ 植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から 15cm 以上離して携行、および使用してください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎ 身動きが自由に取れない状況など、15cm 以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎ 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。

- ・手術室、集中治療室（ICU）、冠動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください

◎ 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により機器の作動に影響を与える場合があります

● ご利用にあたって

◎ 説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。

● 免責事項

- ◎ 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。

本機には、Google Noto フォントを使用しています。
Copyright ©2014, 2015 Adobe Systems Incorporated (<http://www.adobe.com/>).
This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1 (<http://scripts.sil.org/OFL>).

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

危険 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）。

必ず守っていただきたい注意事項です。

危険

 **自動車を運転しながら交信や操作をしない**
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

 **航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る**
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。

 **引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない**
発火事故や落下事故などの原因になります。

 **電池が漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険**
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医師の診断を受けてください。

 **電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因にならないでください。

 **リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない**
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

警告

 **分解や改造をしない**
本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です。分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

 **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

 **煙が出ている、変な臭いが出るときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す**
火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください。

 **心臓ペースメーカー装着者に配慮し、人ごみでは電源を切る**
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意

 **指定以外のオプションを使用しない**
ケガの原因になります。また、本体の故障や破損の原因にもなります。

 **強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない**
故障の原因になります。

 **リチウムイオンバッテリーを充電するときの温度範囲は 5℃～35℃です**
これ以外の温度での充電は、故障の原因になります。

 **磁気カードなどを無線機に近づけない**
キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります。

 **無線機を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない**
変形や変色等の原因になります。

 **シンナーやベンジンなどでケースを拭かない**
変形や変色等の原因になります。ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布か、汚れがひどい場合は水かぬるま湯で濡らしてかたく絞った柔らかい布で拭き取ってください。